兆

四年

画数 6

筆順 丿 乂 兆 兆

オン チョウ

クン きざ＝し＝す

成り立ち

昔、中国では、大事な事はうらなってきめましたが、かめの甲をやいて、そのわれめのもようでうらないました。その〝もよう〟を表した字です。

この〝もよう〟に、〝きざし〟があらわれていると考えられていましたので、〝きざし〟という意味を表しました。〝きざし〟とは〝前ぶれ〟のことです。物事が起こる前に、その起こることを知らせてくれるもののことを言います。例前兆、兆候、吉兆、凶兆。

〝億〟の一万倍を表す数として使われます。例五十三兆五千六百億円。

また、「とても多いこと」という意味にも使います。

使い方

▽どうも体の調子が悪いので、病気の前兆ではないかと心配になって、お医者さんに見てもらおうかと思いました。

▽伊豆の大島では、大噴火の起こる兆候があちこちに見られ、島民は急いで避難しました。

熟語例

▽前兆（何かが起こる前ぶれ）

▽兆候（何かが起こりそうな兆し）

▽吉兆（良いことの前ぶれ。「船の中に一匹の大魚が飛び込み、みんなは吉兆だとして大喜びしました」などというふうに、つかいます。）

▽凶兆（悪いことの前ぶれ。「さっと吹いて来た一陣の風に旗が折れたので、兵士たちはこれを見て凶兆ではないかと、顔色を変えました」などというふうに、つかいます。）

腸

四年

画数 13

筆順 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 腸

オン チョウ

クン

成り立ち

太陽の光を表した〝日〟と、その音を表した〝丁〟とを組み合わせて作った〝昜（場年2 164・陽年3 434）〟は、ここでは、同じ音の〝長〟の意味に使われています。

肉のかたまりの形を表し、人の体（肉体）の意味に使われる〝月〟と、〝長い〟意味を表した〝昜〟とを組み合わせて作った字です。「肉体の中で一番長い物」である〝腸〟は、らわた〟を表した字です。

〝大腸〟〝小腸〟〝十二指腸〟〝直腸〟などの部分に分かれています。

使い方

▽わたしは、胃腸のぐあいが悪くて、学校を休みました。

▽わたしの友だちは、盲腸炎にかかり入院しました。

▽ここであきらめなければならないとは、まさに断腸の思いです。

熟語例

▽大腸（腸の一部で、太く大きい腸）

▽小腸（大腸の手前にある、細くて長い腸）

▽十二指腸（小腸の一部で、胃につながっている部分。長さが指のはば十二本分ほどの長さ（約三十センチ）なので、この名前があります。）

▽直腸（大腸の最後の、まっすぐな部分）

▽盲腸（大腸の最初の部分。一般に「盲腸炎」と呼ばれるのは、盲腸の下にある虫垂という所が炎症を起こす病気です。）

▽断腸（腸が断ち切れるような、「激しい悲しみ」のことを言います。）